

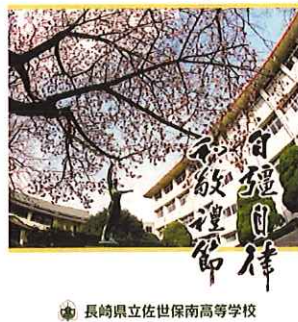
『還暦ミニ同窓会(第28回 長崎県立佐世保南高校卒業)』

私事ですが、昭和32年生まれで今年の12月の誕生日で還暦を迎えます。長女姉の主人が60歳の時、佐世保市の中学校出身の全員に呼び掛けて還暦同窓会を開催しました。当時、「すごいなあ！いいなあ！」と思い、自分も還暦になったら佐世保中の同級生に会いたいなあと思いました。それから10年後の今年、友人からのメールが届きました。『本番は来年だけど、9月23日に佐世保市内のホテルで“プチ同窓会”をします。』との案内。嬉しくて嬉しくて、それより何より「何で今年、今回じゃないんだろう。」とも思いましたが…。私自身同窓会の幹事の経験もあり、その大変さは誰よりも分かっているつもりです。それで、私は、幹事が喜ぶようにと、出しゃばったことと感じていましたが、“ある物”を手作りし、当日人数分作成して会場に持参しました。

私の出身高校は、佐世保南高校で、卒業生は約430人。今回はその内の約70名が出席しました。今の私を知る方は想像できないでしょうが、私はあまり社交的ではなく、同じ中学校の仲間やクラスの一部の同級生としか交流がありませんでしたので、今回のプチ同窓会に出席者の半分も顔もわからなければ名前も「こんな奴おったっけ？」と、こんな感じでした。しかし、“ある物”のお陰で、見覚えのない奴や顔を忘れた奴等と打ち解けて話すことができました。「森は、文化祭で“ひょっこりひょうたん島”踊ったよね。自動車代50円節約するために、自転車通学してたよね。体育祭で応援団長になったね、準優勝だったけどさ…などなど。懐かしい、」忘れてしまってた思い出が沢山蘇ってきました。“ある物”の効果は、『友情の再構築』という最高のプレゼントをもたらしてくれました。出席前に思ってた高校時代の私は社交的ではないと思っていましたが、結構友人の心に俺の存在を残してるじゃん。と思い嬉しかったです。

さて、今回の同窓会が何で“プチ同窓会”で、来年が『第28回佐世保南高校同窓会』なんだろうとの意味が分かりました。それは、皆、60歳という年齢は、個人経営や無職の友人以外のほとんどが、定年が60歳で今年は忙しく、来年は時間が取れる同窓生が多いということからでした。「なるほど、なるほど。」納得でした。来年の同窓会がすごく楽しみになりました。私自身来年も幹事の皆が喜ぶような“何か”を考えるつもりです。

From センター長 森 隆敏



長崎県立佐世保南高等学校

9月行事 **祝** 『敬老感謝週間』

皆様へ日頃の感謝をこめて、9月の行事『敬老感謝週間』を19日(火)20日(水)21日(木)の三日間行いました。

毎年恒例の職員手作りのプレゼント。今年は、フクロウのキーホルダーにしました。そこには職員からのメッセージ“まんまる笑顔”の言葉を添えました。日頃からバックや小物などにつけて大切に愛用して頂けると嬉しく思います。

さて、今年の行事は、外部からお客様をお呼びして利用者の方々に楽しんで頂くよう様々な出し物を計画しました。

初日は、『長岡洋道(芝バンド)様』による三味線とギターの演奏と歌の出し物。軽妙なトークで場を盛り上げて頂き、利用者さんの笑顔がたくさん見られるとともに、お馴染みの曲では利用者さんも職員も一緒に歌ったり、踊ったりととても活動的で、笑いの絶えない時間となりました。

敬老感謝の手作りプレゼント



2日目は、『マーラ・ブア(フラダンス)様』によるフラダンスと歌の出し物。南国の雰囲気の中、途中には職員による飛び入りダンスや手品もあり、利用者さんの笑顔がたくさん見られるとともに、お客様と職員と利用者さん全員と一緒に踊る時間もあって、とても活動的で楽しい雰囲気の一時を過ごしました。



3日目は、『アプリシェイト(ベリーダンス)様』による踊りを披露していただきました。ふる里始めて以来の外国の方によるベリーダンス。妖艶な中に力強いダンスに男性利用者さんの目は釘づけしかし、女性の利用者の方も初めて見るダンスを目を食い入るように集中して鑑賞されていました。

途中には利用者の方による即席のダンスもあり、盛り上がった時間になりました。



即席指導による利用者さんのダンス 妖艶??



今回、プレゼントを配ってくれたプレゼンターは『ピエロ』。皆さんと一緒に手話付きで唄を歌って、場を盛り上げてくれました。一日を通して敬老を祝う企画満載の行事でした。皆さん、笑いの止まらない、笑顔いっぱい『おもてなし♡』を楽しまれ、満足されていました。まだまだ行事の楽しみは続きます♪



敬老感謝のお食事は、とても豪華なメニューでご利用者の皆様に満足させました。一日目・二日目は大村押し寿司。三日目はアナゴ寿司と寿司尽くし。お刺身や茶わん蒸し、さらには天ぷらなど食べること大変なほど。満腹感とおいしい味に利用者の皆様は、「こがん食いきらんよお!」、「すごいご馳走ばい!!」などの声も聞かれ、とても喜ばれていました。



行事担当 田嶋 有希・白石奈智子

## ～訪問ボランティア～

昊天宮子育てサロン様 9月11日 水曜日



9月11日(水)「昊天宮子育てサロン」の子ども達による訪問がありました。リトミックや『もも太郎』の劇などを上手に可愛らしく披露されました。皆さんもその姿を見て、終始「笑顔」が絶えず、とても喜ばれていました。ふれあいタイムでは、子ども達と「握手」や「肩たたき」などをして楽しい時間を過ごしました♪

## 居宅介護サービスセンター ふる里

【居宅介護サービスセンターふる里】とは…  
 介護全般の相談役となり、介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援など行い、ケアマネージャーが皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は無料です。24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



## 十月の行事予定

◆ふる里10月行事 『ミニミニ運動会』  
 24日(火)・25日(水)・26日(木)

◆生花教室 ～山崎弘子先生～ 12日(木)・30日(月)

◆書道教室 ～中村朱実先生～ 5日(木)・16日(月)

◆おはなしの部屋～鐘ヶ江先生他～ 17日(火) ※1

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ～中村寿美子先生～ 31日(火)

◆やわらぎ(針灸マッサージ師)～平島泰士先生～ … 毎週火・木・金曜日

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後 4・11・18日実施予定

※2 おしゃれサロンは、先生の都合によりしばらくお休みいたします。



## 今月の作品



## ふる里のマスコット



日本では、10月のことを『神無月(かんなづき)』といいます。これは日本中の神様が、出雲の国(島根県)に集まり会議を開くと言われており、そのために他の国に神様がいなくなってしまうことから「神さまがいなくなる(無くなる)月」という意味だそうです。でも逆に、神様の集まる出雲の国(島根県)では『神在月(かみありづき)』と言われています。

ふる里は、「ふくろう」がマスコットになっていますが、そのふくろうは「不苦労」とも書け、「苦労がない」という意味でもあります。ふる里をご利用される皆様には、苦労なく、笑顔いっぱいに楽しく過ごしてもらいたいという思いが込められたマスコットなんです。 編集後記 三岳 健吾